

10月から  
始まる

# ごみの新分別に備えましょう

貴重な資源と豊かな自然を守り育て、次世代に引き継ぐことは、郷土根室で今を生きる私たちの使命です。

市では、市民一人ひとりが自然環境と共生する視点に立ち、環境にやさしい生活スタイルへの転換を図るため、天然資源の消費が抑制され環境への負荷が低減される社会、いわゆる「循環型社会」の形成を目指し、平成22年度から平成31年度までの10カ年計画により、リサイクル品目や資源収集日の拡大、さらにごみの分別強化など、廃棄物の3Rに取り組みます。

10月1日からのスタートに向け、新しくなるごみの分別方法などについてご理解をお願いします。

## 「ごみの新分別等説明会」への参加を

市では、5月から各町内会や団体などの希望により、ごみの新分別等にご理解をいただくための「ごみの新分別等説明会」を開催していますが、町内会組織が無い地区や町会の説明会に出席できなかった

方などのために、次の日程で説明会を開催します。

また、根室商工会議所のご協力で、事業所向けの説明会を開催します。皆様のご参加をお願いします。

## 新分別ガイドブックとポスターを配布します

ごみの新分別のルールや収

集日の変更などをまとめた「新分別ガイドブック」が完成しました。

「新分別ガイドブック」は、6月に各町内会を通じて配布されます。町内会組織が無い地区等にお住まいの世帯については、市役所市民環境課や公共施設の窓口でお受け取りください。また、市内のコンビニエンスストアなどにも設置してありますので、ご利用ください。

ポスターは、日本語版以外に英語・ロシア語・中国語版もありますので、外国人を雇用されている事業所等のご要望・申し込みにより、市役所市民環境課の窓口で配布します。

## ごみの新分別等説明会

### ■一般説明会

会場 総合文化会館多目的ホール  
日時 6月17日(木)  
1回目 10時～  
2回目 14時～  
3回目 18時30分～

### 6月20日(日)

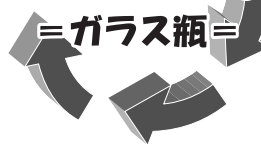
1回目 10時30分～  
2回目 13時30分～

### ■事業所説明会

会場 総合文化会館多目的ホール  
日時 6月22日(火)  
1回目 10時30分～  
2回目 15時～  
3回目 18時30分～

お問合せ先 市役所市民福祉部市民環境課環境衛生担当(窓口6番) TEL(23)6111番内線2127・2137/FAX(24)6272番

## 資源ごみはどうなるの？



資源ごみが、どのようリサイクルされるのか、私たちが分別するの紹介について

●洗って繰り返し使う「再使用」  
ビール瓶や牛乳瓶のように、いったん回収された後、もう一度中身が入れられる瓶をリターナブル瓶といいますが、もっとも無駄がないこのシステムは、リサイクルや環境問題という言葉がなかった昔から、暮らしの中で普通にやられてきました。

このシステムが円滑に稼働しているのは、販売店の協力と自治体や独自のルートで収集された空き瓶を分類・洗浄して、メーカーに納める「びん商」が活躍しているからです。

●新しい瓶の原料にする「再利用」  
リターナブル瓶に対し、1回だけ使う瓶を「ワンウェイ瓶」といいます。

生活様式の変化や製品の多様化などにより容器のワンウェイ化が進み、現在では、ワンウェイ瓶の割合が大きくなっています。

回収されたワンウェイの空き瓶は、砕かれてカレットと呼ばれるガラス瓶の原料になり、天然資源に混ぜられ使われます。

現在、ガラス瓶の原料の約80%がカレットで、貴重な資源となっています。

### ●瓶の原料以外に役立つ「他用途利用」

ガラス瓶リサイクルでは、再使用と再利用のシステムが確立されているものの、残念ながら資源化されずに、不燃ごみとして埋立処分場へ送り込まれてしまう空き瓶も存在します。

空き瓶の100%資源化を実現するために注目されるのが、空き瓶をガラス瓶の原料以外の用途に利用するリサイクルで、主に「その他の色のガラス瓶」が用いられています。

現在、ガラスウールをはじめ、タイル・ブロック類、などに用いられ、土木や建築の分野で実用化が進んでいます。